



阿蘇には、
神様が
呼んでくれた。

阿蘇薬草園
井澤敏

体の弱かった幼少期。祖母とその茶飲み
友だちの「ごてーどん(旦那)の愚痴、
漬物の漬け方、薬草の使い方」のお喋り
を聞いて育った。興味を引いたのは、



原点は“阿蘇とうきび”との出会い。

薬草のこと。薬草で遊び、使い方を試し
たり、家伝秘伝を教わりながら知識を
身につけた。そして高校卒業後、国鉄
(現・JR)に就職した時に“阿蘇とうきび”
に出会う。その魅力を世に伝えたいと
夢を抱き続け、20年間勤めた国鉄退職
後に、南阿蘇村に薬草園を開いた。これ
が転機となった。平成の初めのことだ。
大病を克服し、「農薬・化学肥料・除草
をしない3NO主義自然農法」で様々
な薬草を育て製品化。口コミで全国
から薬草講座に人が集まり、薬草の

達人と言われるようになる。そして、
熊本地震。薬草園も甚大な被害を
受けたが、願いかなって今年、阿蘇
神社門前町商店街に移転した。「南
阿蘇より少し寒い気候は、まさに薬草の
宝庫」と絶賛。旧女学高跡の裏手に
新しい工場を作る計画も着々と。還暦
で人生を折り返して10余年。74歳で
3歳の娘を持つ姿に、薬草のちからを
感じる。「工場建設後、新たに地元の人
や観光客が訪れるサロンを作りたい」
と、明るく開放的な店舗で展望を語る。

人の力を
信じる。

阿蘇の誇りと実りのブランド

然
zen
A s o C i t y